

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成25年11月11日

**【四半期会計期間】** 第67期第2四半期(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

**【会社名】** 株式会社 久 世

**【英訳名】** KUZE CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 久 世 健 吉

**【本店の所在の場所】** 東京都豊島区東池袋二丁目29番7号

**【電話番号】** 03-3987-0018 (代)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営サポート本部長 加 藤 広 忠

**【最寄りの連絡場所】** 東京都豊島区東池袋二丁目29番7号

**【電話番号】** 03-3987-0018 (代)

**【事務連絡者氏名】** 取締役経営サポート本部長 加 藤 広 忠

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第66期 第2四半期 連結累計期間	第67期 第2四半期 連結累計期間	第66期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	27,238,774	30,523,792	56,060,007
経常利益 (千円)	210,360	181,708	697,892
四半期(当期)純利益 (千円)	100,955	96,198	367,976
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	62,035	232,147	469,323
純資産額 (千円)	4,189,364	4,781,770	4,596,171
総資産額 (千円)	18,785,321	18,584,086	19,222,761
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	26.03	24.80	94.86
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	22.3	25.7	23.9
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	1,289,820	441,531	806,669
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	115,925	130,571	320,556
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	64,488	284,930	265,646
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	4,808,803	3,711,031	4,563,381

回次	第66期 第2四半期 連結会計期間	第67期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	17.28	29.67

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間においては、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、政府の経済・金融政策などを背景に円高の是正や株価上昇など景況感に改善の兆候が見られたものの、海外景気に対する不安感や原材料価格の上昇に加えて、消費税の増税に対する影響や雇用環境など先行き不透明な状況で推移しました。

当社グループが事業活動の中心としております外食・中食市場におきましても、全般的に消費者の節約志向、低価格志向は続き、さらに急激な円安や政策に伴う原材料価格の上昇もあり厳しい経営環境が続いております。

このような状況のもと、当社グループは「第二次C & G経営計画」（平成24年4月～平成27年3月）の二年目として、「三大都市圏No.1」、「顧客満足度No.1」を主眼に「頼れる食のパートナー」を掲げ、お客様に真に必要とされる企業となるべく諸施策を打ち、営業利益の向上を活動方針に事業活動に取り組んでまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高は305億23百万円と前年同四半期と比べ32億85百万円（12.1%）の増収、営業利益は54百万円と前年同四半期と比べ80百万円（59.5%）の減益、経常利益は1億81百万円と前年同四半期と比べ28百万円（13.6%）の減益、四半期純利益は96百万円と前年同四半期と比べ4百万円（4.7%）の減益となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### (食材卸売事業)

当セグメントにおきましては、物流面や人材面への投資を進めるとともに、引き続き積極的な営業活動を進めました。一方急激な円安や原料高に伴う商品価格の高騰に対応し、更なる生産性の向上やコストダウンを中心とした収益改善に取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は284億8百万円と前年同四半期と比べ29億29百万円（11.5%）の増収、セグメント利益（営業利益）は2億88百万円と前年同四半期と比べ1億86百万円（39.3%）の減益となりました。

#### (食材製造事業)

当セグメントにおきましては、引き続き自社ブランド商品の販売強化に努め、継続的な品質向上とコストダウンにも取り組んでまいりました。

このような結果、売上高は21億26百万円と前年同四半期と比べ3億56百万円(20.1%)の増収、セグメント利益(営業利益)は1億48百万円と前年同四半期と比べ73百万円(97.8%)の増益となりました。

#### (不動産賃貸事業)

当セグメントにおきましては、主に連結子会社を対象に不動産賃貸を行っております。当事業の売上高は76百万円と前年同四半期と比べ0百万円(0.2%)の減収、セグメント利益(営業利益)は58百万円と前年同四半期と比べ1百万円(1.9%)の減益となりました。

### (2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ6億38百万円減少し、185億84百万円となりました。これは主として現金及び預金が8億37百万円、受取手形及び売掛金が4億43百万円減少し、商品及び製品が4億86百万円増加したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の負債は、前連結会計年度末に比べ8億24百万円減少し、138億2百万円となりました。これは主として支払手形及び買掛金が1億71百万円、流動負債のその他が2億51百万円、長期借入金が1億69百万円減少したことによるものです。

当第2四半期連結会計期間の純資産は、前連結会計年度末に比べ1億85百万円増加し、47億81百万円となりました。これは主として利益剰余金が49百万円、その他有価証券評価差額金が1億25百万円増加したことによるものです。この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の23.9%から25.7%となりました。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物は、前年同四半期と比較して10億97百万円減少し、37億11百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して17億31百万円減少し、4億41百万円の支出となりました。これは売上債権の減少額が4億45百万円、たな卸資産の増加額が4億60百万円、仕入債務の減少額が1億73百万円、その他の負債の減少額が3億3百万円であったことが主たる要因であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して14百万円減少し、1億30百万円の支出となりました。これは有形固定資産の取得による支出が1億円であったことが主たる要因であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同四半期と比較して2億20百万円減少し、2億84百万円の支出となりました。これは長期借入れによる収入が3億円、長期借入金の返済による支出が5億6百万円、配当金の支払額が44百万円であったことが主たる要因であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	12,000,000
計	12,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月11日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,882,500	3,882,500	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株であります。
計	3,882,500	3,882,500		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		3,882,500		302,250		291,900

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式総数に対する 所有株式数の割合(%)
久世健吉	東京都豊島区	772	19.90
久世真也	神奈川県川崎市多摩区	236	6.08
久世社員持株会	東京都豊島区東池袋二丁目29番7号	218	5.62
久世純子	東京都豊島区	200	5.16
阿久澤佐喜子	東京都多摩市	136	3.52
株式会社トーホー	兵庫県神戸市東灘区向洋町西5丁目9番	135	3.47
日本生命保険相互会社	大阪府大阪市中央区今橋三丁目5番12号	130	3.34
株式会社みずほ銀行	東京都千代田区丸の内一丁目3番3号	125	3.21
三菱商事株式会社	東京都千代田区丸の内二丁目3番1号	125	3.21
久世将寛	東京都豊島区	116	3.00
計		2,196	56.58

(注) 1.持株比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,400		
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,878,500	38,785	
単元未満株式	普通株式 600		
発行済株式総数	3,882,500		
総株主の議決権		38,785	

(注) 1.単元未満株式には自己株式78株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社 久世	東京都豊島区東池袋 二丁目29番7号	3,400		3,400	0.08
計		3,400		3,400	0.08

2 【役員の状況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間における役員の異動は、次のとおりであります。

(1) 役職の異動

新役名及び職名	旧役名及び職名	氏名	異動年月日
取締役 (広域営業本部長兼物流本部長)	取締役 (物流本部長)	鎌田 美紀男	平成25年8月1日

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、新日本有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。



1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,038,946	4,201,633
受取手形及び売掛金	7,441,383	6,998,333
商品及び製品	1,829,707	2,315,844
原材料及び貯蔵品	253,359	230,726
その他	760,186	742,625
貸倒引当金	44,697	42,244
流動資産合計	15,278,884	14,446,918
固定資産		
有形固定資産	2,119,092	2,148,189
無形固定資産	85,373	78,504
投資その他の資産		
その他	1,818,275	1,987,621
貸倒引当金	78,865	77,147
投資その他の資産合計	1,739,410	1,910,473
固定資産合計	3,943,876	4,137,167
資産合計	19,222,761	18,584,086
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,197,737	10,026,314
1年内償還予定の社債	40,000	40,000
1年内返済予定の長期借入金	892,251	855,781
未払法人税等	195,909	57,484
賞与引当金	167,410	153,109
その他	1,314,368	1,062,879
流動負債合計	12,807,676	12,195,569
固定負債		
社債	40,000	20,000
長期借入金	1,113,775	944,051
退職給付引当金	163,979	167,415
役員退職慰労引当金	187,276	180,717
その他	313,882	294,562
固定負債合計	1,818,913	1,606,746
負債合計	14,626,589	13,802,315

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	302,250	302,250
資本剰余金	291,900	291,900
利益剰余金	3,764,468	3,814,119
自己株式	1,722	1,722
株主資本合計	4,356,896	4,406,546
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	183,602	308,945
繰延ヘッジ損益	-	325
為替換算調整勘定	55,672	65,951
その他の包括利益累計額合計	239,275	375,223
純資産合計	4,596,171	4,781,770
負債純資産合計	19,222,761	18,584,086

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	27,238,774	30,523,792
売上原価	22,683,086	25,471,940
売上総利益	4,555,687	5,051,852
販売費及び一般管理費		
給料	891,385	939,885
賞与引当金繰入額	173,375	135,725
役員退職慰労引当金繰入額	6,100	5,700
運賃	2,042,265	2,446,180
貸倒引当金繰入額	12,070	4,336
その他	1,295,666	1,465,399
販売費及び一般管理費合計	4,420,862	4,997,227
営業利益	134,824	54,624
営業外収益		
物流業務受託収入	20,940	18,047
協賛金収入	73,951	75,243
その他	71,221	113,549
営業外収益合計	166,113	206,839
営業外費用		
物流業務受託収入原価	26,112	21,383
催事等振替原価	32,377	34,098
その他	32,087	24,274
営業外費用合計	90,577	79,756
経常利益	210,360	181,708
特別利益		
投資有価証券売却益	-	8,850
特別利益合計	-	8,850
特別損失		
減損損失	-	28,995
固定資産売却損	2,456	620
特別損失合計	2,456	29,616
税金等調整前四半期純利益	207,904	160,941
法人税、住民税及び事業税	128,099	55,387
法人税等調整額	21,150	9,355
法人税等合計	106,948	64,742
少数株主損益調整前四半期純利益	100,955	96,198
四半期純利益	100,955	96,198

【四半期連結包括利益計算書】  
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	100,955	96,198
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27,438	125,343
繰延ヘッジ損益	-	325
為替換算調整勘定	11,481	10,278
その他の包括利益合計	38,920	135,948
四半期包括利益	62,035	232,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	62,035	232,147
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	207,904	160,941
減価償却費	92,579	97,042
減損損失	-	28,995
固定資産売却損益(は益)	2,456	620
投資有価証券売却損益(は益)	-	8,850
貸倒引当金の増減額(は減少)	9,443	4,171
賞与引当金の増減額(は減少)	19,388	14,301
退職給付引当金の増減額(は減少)	5,499	3,436
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	6,100	6,559
受取利息及び受取配当金	12,844	16,939
支払利息	10,275	10,368
売上債権の増減額(は増加)	88,247	445,046
たな卸資産の増減額(は増加)	113,498	460,256
その他の資産の増減額(は増加)	4,748	10,546
仕入債務の増減額(は減少)	1,231,936	173,168
その他の負債の増減額(は減少)	44,947	303,681
小計	1,411,192	252,022
利息及び配当金の受取額	8,198	13,895
利息の支払額	9,176	11,164
法人税等の支払額	120,394	192,240
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,289,820	441,531
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	15,042	15,037
有形固定資産の取得による支出	90,245	100,640
有形固定資産の売却による収入	933	222
無形固定資産の取得による支出	1,018	3,234
投資有価証券の取得による支出	4,890	5,110
投資有価証券の売却による収入	-	19,500
貸付けによる支出	1,800	780
貸付金の回収による収入	1,990	1,095
その他投資等の取得等による支出	20,896	48,291
その他投資等の解約等による収入	15,044	21,704
投資活動によるキャッシュ・フロー	115,925	130,571
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	300,000	300,000
長期借入金の返済による支出	293,591	506,194
社債の償還による支出	20,000	20,000
リース債務の返済による支出	4,943	14,365
配当金の支払額	45,954	44,371
財務活動によるキャッシュ・フロー	64,488	284,930
現金及び現金同等物に係る換算差額	99	4,683
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	1,109,307	852,350
現金及び現金同等物の期首残高	3,696,994	4,563,381
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	2,502	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	<sup>1</sup> 4,808,803	<sup>1</sup> 3,711,031

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
現金及び預金	5,169,328千円	4,201,633千円
預入期間が3か月を超える定期預金	360,525千円	490,602千円
現金及び現金同等物	4,808,803千円	3,711,031千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月27日 定時株主総会	普通株式	46,548	12	平成24年3月31日	平成24年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月26日 定時株主総会	普通株式	46,548	12	平成25年3月31日	平成25年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	25,462,870	1,769,760	6,142	27,238,774
セグメント間の内部売上高 又は振替高	15,468		70,557	86,025
計	25,478,338	1,769,760	76,700	27,324,799
セグメント利益	474,868	75,007	59,734	609,609

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び

当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	609,609
セグメント間取引消去	4,051
全社費用(注)	478,837
四半期連結損益計算書の営業利益	134,824

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	食材卸売事業	食材製造事業	不動産賃貸事業	
売上高				
外部顧客への売上高	28,391,613	2,126,169	6,009	30,523,792
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,489		70,557	87,046
計	28,408,102	2,126,169	76,567	30,610,839
セグメント利益	288,213	148,385	58,616	495,216

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利 益	金 額
報告セグメント計	495,216
セグメント間取引消去	2,783
全社費用(注)	443,374
四半期連結損益計算書の営業利益	54,624

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	26円3銭	24円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額 (千円)	100,955	96,198
普通株主に帰属しない金額 (千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額 (千円)	100,955	96,198
普通株式の期中平均株式数 (株)	3,879,022	3,879,022

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載をしておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。



## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月11日

株式会社 久世  
取締役会 御中

### 新日本有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 千 葉 達 也 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 井 尾 稔 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社久世の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社久世及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。